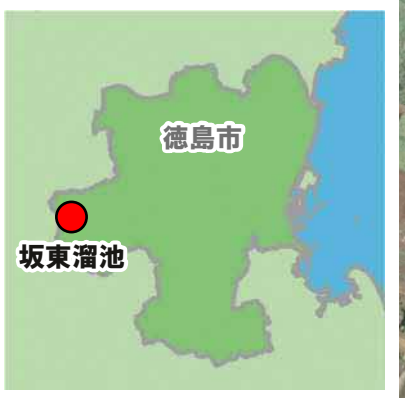


ため池名称：坂東溜池
 総貯水量：2,000t

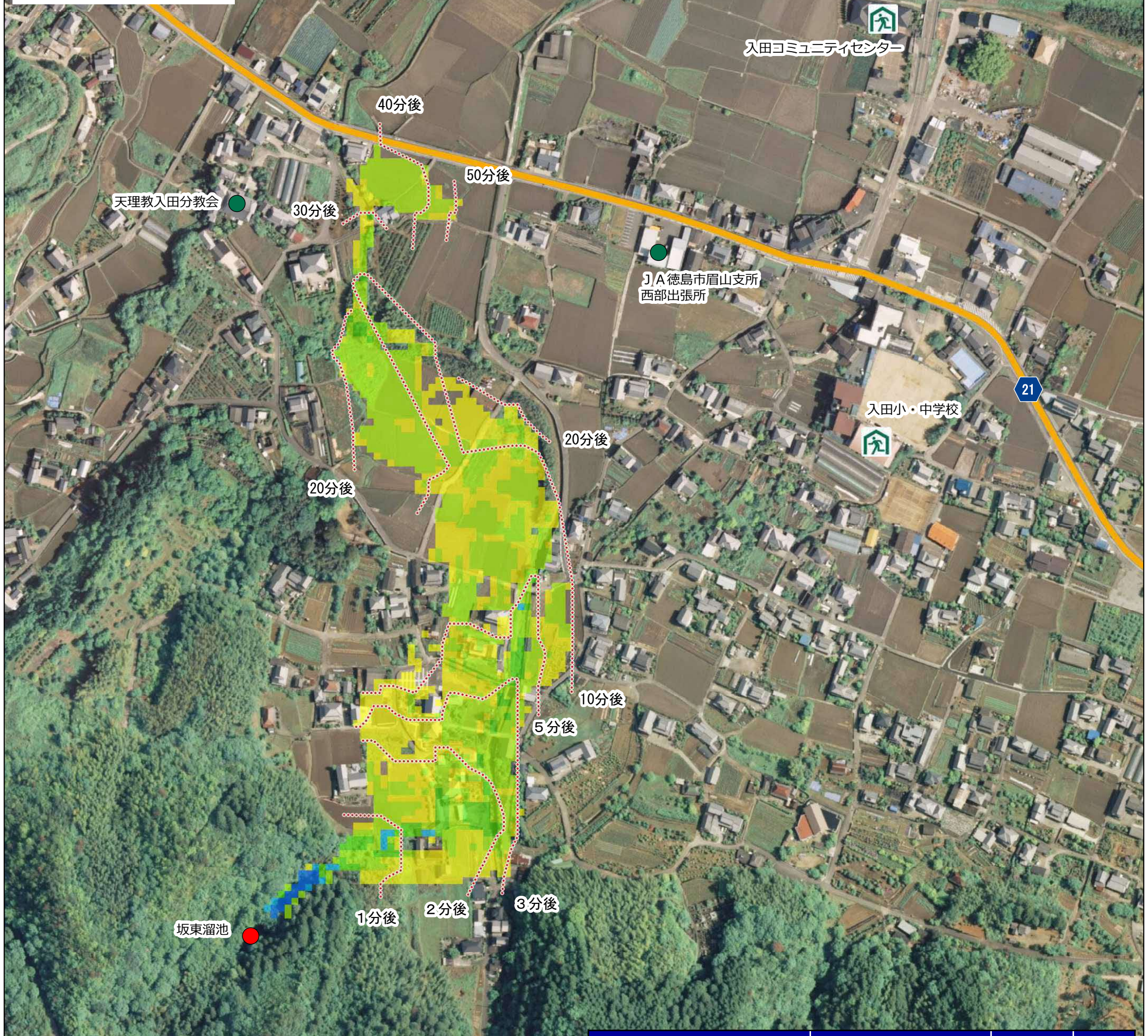


徳島市ため池ハザードマップについて

このため池ハザードマップは、ため池が南海地震などにより大きな被害を受け、ため池の堤防が決壊した場合を想定し、その氾濫水が決壊60分後に到達する区域の**最大範囲**と、予想される**浸水の深さ**を表示したものです。

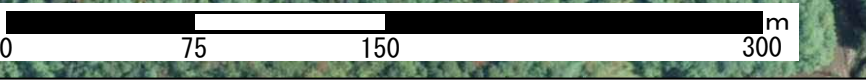
実際の氾濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害程度、周辺の土地利用状況等により、**これと異なる可能性**もあります。平常時から十分な備えをしていただき、地震が発生したら、あわてず、周囲の状況を確認し、適切な行動をとるようお願いいたします。

緊急時連絡先 (関係機関)	電話番号
火事、救急	119番
警察	110番
徳島市役所(代表)	621-5111
〃 (耕地課)	621-5258



マップの見方

- ため池
- 洪水到達時間
- 主要道路
- 🏠 避難所
- 避難所 (一般災害時のみ対応)



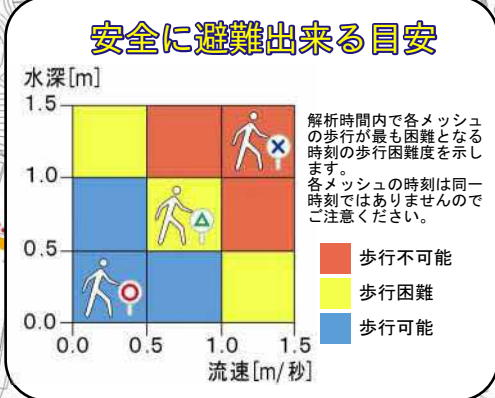
一般災害時及び地震災害時の避難所	住所	連絡先	収容人数
入田コミュニティセンター	入田町春日121番地の1	644-2124	91
入田小・中学校	入田町春日181番地の1	644-0153	258
JA徳島市眉山支所西部出張所	入田町春日108番地の1	644-0427	35
天理教入田分教会	入田町天ノ原239番地の1	644-0712	50

一般災害時の避難所開設順位

台風・土砂災害等の災害時には、以下の順番で避難所を開設します。

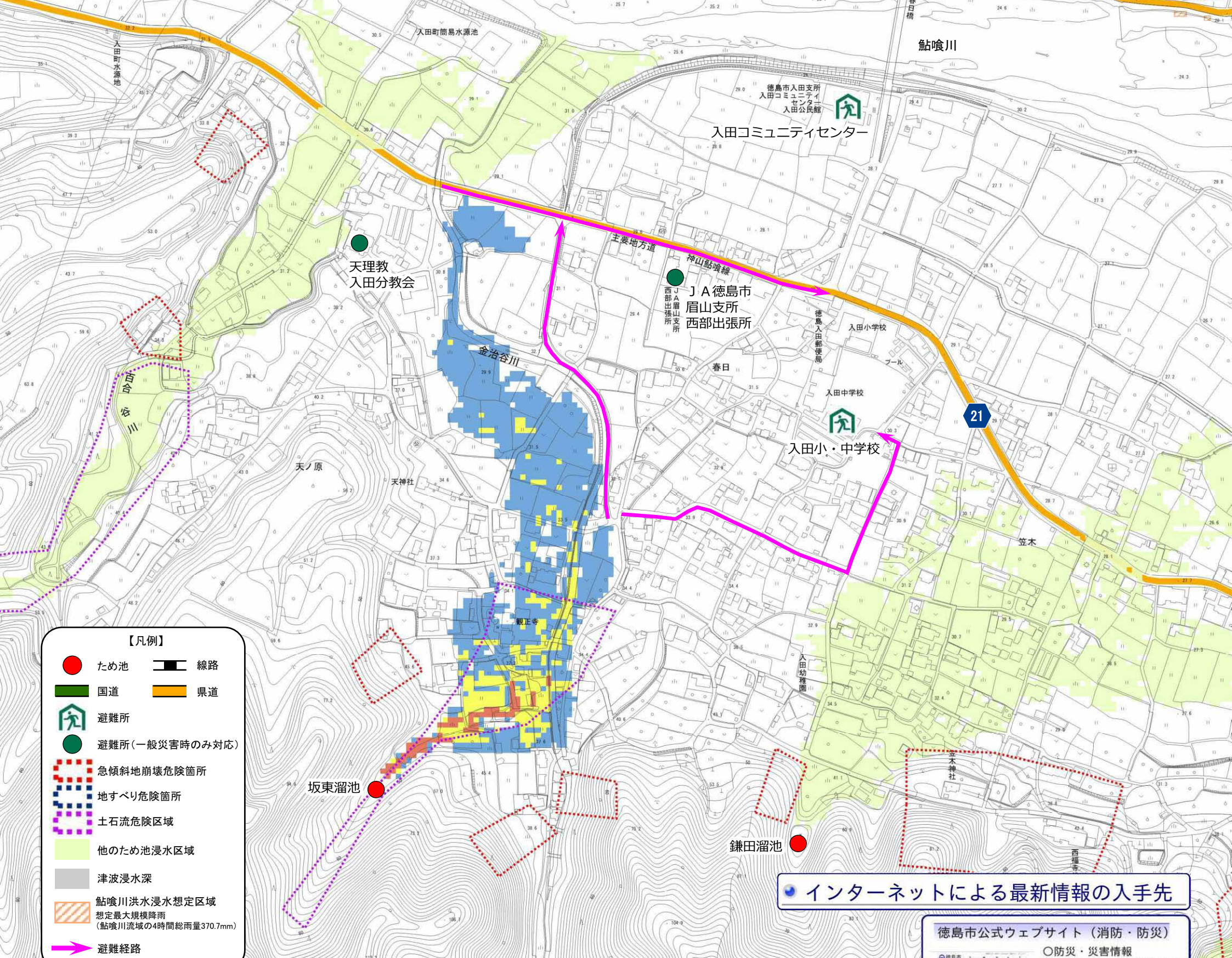
- (1) コミュニティセンター
- (2) 市立の小中高等学校
- (3) その他の市有施設
- (4) その他の公共施設(県有施設・国有施設等)
- (5) 民間施設

なお、大地震や特別警報が発表される等、甚大な被害が予測される場合にはこの限りではありません。



この地図は農業用ため池の坂東溜池が南海地震などにより大きな被害を受け、堤防が決壊してため池から一度に水が流出した場合を想定して作成したものです。
 実際に氾濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤防の被害程度、周辺の土地利用状況や、他の災害の同時発生により、これと異なる可能性があります。地震が発生したら「まずは安全な場所に逃げる」ことがなにより大切です。
 地域みなさんでこの地図をご活用いただき、地震時の安全確保に努めて下さい。

浸水後の避難困難区域について



【凡例】

- ため池
- 線路
- 国道
- 県道
- 🏠 避難所
- 避難所(一般災害時のみ対応)
- ⚠️ 急傾斜地崩壊危険箇所
- ⚠️ 地すべり危険箇所
- ⚠️ 土石流危険区域
- 他のため池浸水区域
- 津波浸水深
- 鮎喰川洪水浸水想定区域 (想定最大規模降雨(鮎喰川流域の4時間総雨量370.7mm))
- ➡️ 避難経路

インターネットによる最新情報の入手先

徳島市公式ウェブサイト(消防・防災)

- 防災・災害情報
- ハザードマップ
- パソコン
- スマートフォン
- 携帯電話

http://www.city.tokushima.tokushima.jp/anzen/shoubu_bousai/

徳島県防災・危機管理情報「安心とくしま」

- 緊急災害情報
- 被害情報
- パソコン
- スマートフォン
- 携帯電話

<http://anshin.pref.tokushima.jp/>

気象庁(徳島地方気象台)

- 天気予報
- 気象警報
- 注意報
- 降水ナウキャスト
- パソコン
- スマートフォン

<http://www.jma-net.go.jp/tokushima/>

状況に応じた避難をしよう

ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

【浸水の深さ】	【判断】	【どこへ】	【どうやって】
5m以上の浸水	必ず	浸水しない場所 (避難所・道路・空き地・高台など)	● 歩きやすい服装 ● 徒歩で避難 ● お年寄りなどの避難に協力を ● 事前に避難先を話し合う
2~5m未満の浸水	必ず	● 安全な場所へ避難する ● 水平避難	
1~2m未満の浸水	時間と安全な避難経路が確保されていれば	自宅の2階 危険のない近くの高い建物	● 水、食べ物、簡易トイレ、懐中電灯、ラジオ、貴重品などを2階に持っていく ● 近所のお年寄りも一緒に
0.5~1m未満の浸水	少なくとも	● 自宅や近くの丈夫な建物の2階以上にのぼる ● 垂直避難	
0.1~0.5m未満の浸水	少なくとも	● 床上浸水 ● 大人の腰の高さ程度	
0.1m未満の浸水	必ず	自宅にとどまる ● ひやみな移動はかえって危険 ● 屋内待避	● こんなときは避難しましょう ● 南海地震や直下型地震が発生したら(2~3日後までは警戒が必要) ● 集中豪雨、長雨のとき

正確な情報を入手しよう

避難情報や気象情報の伝達経路

避難情報の種類	みなさんのとるべき行動
避難準備情報	● 避難に向けた準備を開始してください。 ● 高齢者や障がい者など、避難に時間のかかる方は、避難を開始してください。
避難勧告	● 身の安全を確保し、家族や近所で助け合いながら、あわてず、すみやかに避難してください。
避難指示	● すぐに避難してください。 ● 既に危険が差し迫って避難が困難な場合は、自宅の2階や近くの高い建物へ避難してください。

【伝達手段】	住民のみなさん
徳島市 災害対策本部	● 広報車 ● 防災無線
避難準備情報 避難勧告 避難指示	● 徳島市公式ウェブサイト ● 緊急速報メール(エリアメール) ● 徳島市防災ラジオ
気象情報 地震情報	● テレビ ● ラジオ ● インターネット